



Craniotome™

Air Instrument System

クラニオトーム™ エアーインストルメント システム



クラニオトームシステムの特長

クラニオトームはC100/ハンドピースおよび一連のアクセサリーの使用により、脳神経外科手術における頭蓋骨の穿孔、開頭、骨縁形成、ワイヤー固定等の術式に
応用できるシステム製品です。

原動力は窒素ガスで最高回転速度は毎分2万回です。

このシステムの利用により、
手術時間の短縮化及び医師の疲労度の軽減化が図れ、
より安全な手術を目指すことができます。

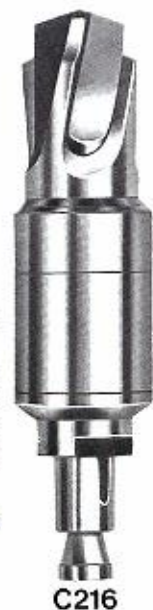
LinvatecクラニオトームはDR.ホールの開発したシステムです。

C293ニューロドライブ (0-1,000rpm)
C293はスカルパーフォレーター(C215、
C216)の駆動用で、ハンドピース(C
100)の20,000rpmを最も安全に、頭蓋
の穿孔を行うのに必要な高いトルクが
出る0~1,000rpmに減速させるアタッ
チメントです。

C215 三溝スカルパーフォレーター
(7mmφ)
C216 二溝スカルパーフォレーター
(12mmφ)

頭蓋穿孔用のパーフォレーターで、回
転中に先端が横すべりしないように、
三溝又は二溝式にしてあります。頭蓋
が穿孔されると同時に、自動的に回転
がストップするクラッチ式のため、極
めて安全に使用できます。

C217 スカルパーフォレーターガード



blades & attache

C201 硬膜ガード(ガードプロテクター付)

C202 回転式硬膜ガード

C451 頭蓋用ブレード(三溝式)

ガードの先端部で頭蓋から硬膜を剥離しながら、ブレードで開頭を行います。ブレードの回転により微細骨粉は頭蓋切断面にぬりこめられるため、出血は線鋸に比べ少くなります。ガードとブレードの併用により、開頭時間の短縮化が図れます。硬膜ガードをセットする際、ブレードがガードの先端孔に入るようにして下さい。

C202回転式硬膜ガードのステム(支柱)は開頭の方法への無理が少くなり、ブレード破壊の減少に役立ちます。ステムは360度回転します。



C201



C202



C451

C203 胸骨ガード(ガードプロテクター付)

C452 胸骨用ブレード

胸骨切断用にガード、ブレード共に開頭用のものより長くしてあります。ブレードの回転機能により出血が少なくなります。



C203



C452

C221 頭蓋形成用アタッチメント

C465 頭蓋形成用バー

このアタッチメントとバーはアクリル樹脂、またはタンタルム板等の頭蓋代用物をはめこむために、短時間の内に頭蓋に均一な深さと巾の骨縁を形成するためのものです。



C221



C465

C426 ワイヤーストック・ドリル

C260 ワイヤーストック・ガード

頭蓋をワイヤーで固定するためのガードとドリルです。ドリルで先ず頭蓋を穿孔し、ドリルの先端孔にワイヤーを通してから、ドリルを引きだせば頭蓋にワイヤーを貫通させることができます。



C426



C260



C470

C470 頭蓋練磨用バー

ワイヤーストックガードと併用します。

仕様

C100 クラニオトーム・ハンドピース

全長：152mm

直径：30mm

重量：312g

回転数：毎分20,000回転まで変速可能

作動圧：90-110PSI(6.3-7.7気圧)

窒素ガス消費量：毎分280リッター

(10立方フィート)

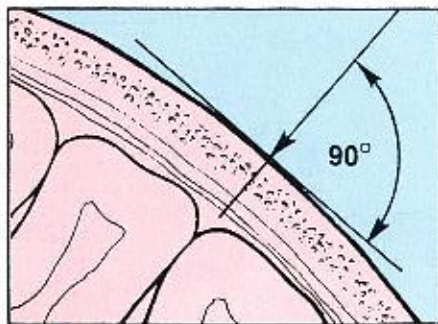
guards, attachments

システム適応術式一覧

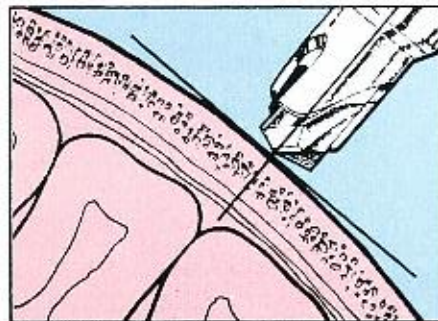
M207 レギュレーター	頭蓋穿孔	C293 (ニューロドライブ)	C215またはC216 (スカルパーフォレーター)	C217 (スカルパーフォレーターガード)
	開頭術	C201(硬膜ガード) C202(回転式硬膜ガード)		C451(頭蓋用ブレード)
C100 ハンドピース およびホース	頭蓋形成	C221(頭蓋形成用アタッチメント)		C465(頭蓋形成用バー)
	ワイヤー固定術	C260(ワイヤーバスガード) C470(頭蓋練磨用バー)		C426(ワイヤーバスドリル)
	肋骨切断	C203(肋骨ガード)		C452(肋骨用ブレード)

頭蓋穿孔の方法

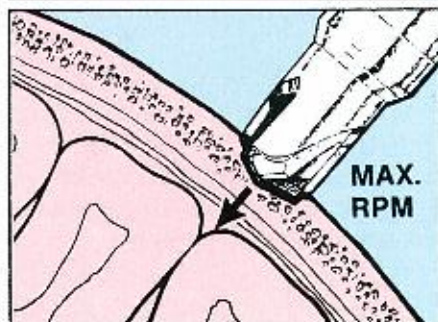
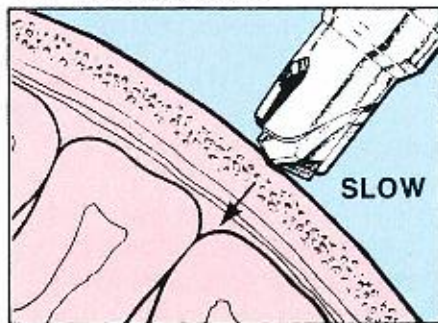
1 頭蓋骨に対し直角に穿孔するようにしてください。



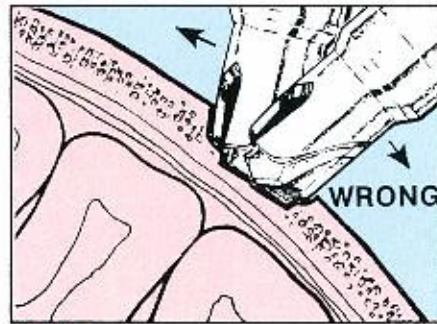
2 作動させる前に、パーフォレーターを頭蓋骨に強くあてて、先端が引込みかどうかチェックしてください。



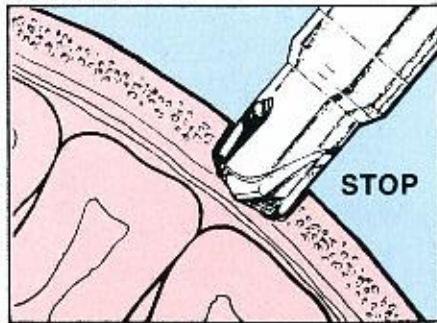
3 パーフォレーターを強く押し徐々に回転数をあげながら穿孔を始めてください。そして横すべりがおこらなくなる位に穴があいた時点で作動バーを一杯に押しして最大のスピードにしてください。



4 穿孔中にハンドピースをゆらしたり、まわしたりしないでください。



5 穿孔が完了した時点即ち、パーフォレーターへの抵抗がなくなると自動的に回転が止まり、内部をきづつけません。回転が止まったらとだちにパーフォレーターを押すのをやめてください。



- 本製品のご使用に際しましては、必ず当社発行の「取扱説明書」を参考ください。
- Linvatecのパワードインストルメントシステムには、必ずLinvatec製ブレード/バーを使用してください。
- 手術時に本システムを安全にご使用頂くため、バーは1回のみのご使用にしてください。
- 製品ロゴが一部変更になることがあります。
- 本文中に記載のカタログ番号は、簡略形ですので、正式なカタログ番号は、次のようになります。最初に「L3」、次に簡略形番号、残りは「0」で11桁になります。
(例) L100の場合 L3-U100-000-00
U301Aの場合 L3-U301-A00-00

医療用器具の番号: 22EY0008

注意

製品のお問い合わせ、ご注文等には上記目録のカタログ番号にてご対応して頂きますようお願い致します。



ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社
ジンマー事業部

本社 〒163-1327 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー27F
TEL 03-5323-8500 (代表) FAX 03-5323-8509
御殿場事業所 〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1656番地の1
TEL 0550-89-8500 (大代表) FAX 0550-89-0371

札幌営業所 TEL 011-716-4221 FAX 011-716-6428	大阪支店 TEL 06-6394-1290 FAX 06-6394-1095
仙台営業所 TEL 022-263-3771 FAX 022-263-5201	岡山営業所 TEL 086-233-2205 FAX 086-233-2278
東京支店 TEL 03-3816-1234 FAX 03-3816-6663	米子出張所 TEL 0859-33-0070 FAX 0859-33-0090
横浜営業所 TEL 045-472-2190 FAX 045-472-2191	広島営業所 TEL 082-261-3618 FAX 082-261-3012
静岡営業所 TEL 0550-89-8511 FAX 0550-89-7465	福岡支店 TEL 092-474-1282 FAX 092-474-2505
名古屋営業所 TEL 052-937-3621 FAX 052-937-9825	熊本営業所 TEL 096-351-9984 FAX 096-351-9587
金沢営業所 TEL 076-263-6703 FAX 076-263-6734	鹿児島出張所 TEL 099-219-4808 FAX 099-227-3443
京都出張所 TEL 075-213-1838 FAX 075-213-1867	沖縄出張所 TEL 098-869-2030 FAX 098-869-2022